

2021年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2020年10月21日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.



目次

財務報告 2

 2021年2月期 第2四半期決算概況 3

 2021年2月期 通期業績の見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 25

ESGへの取組み 28

SMILE
IS
POWER.



財務報告

2021年2月期 第2四半期決算概況
2021年2月期 通期業績見通し

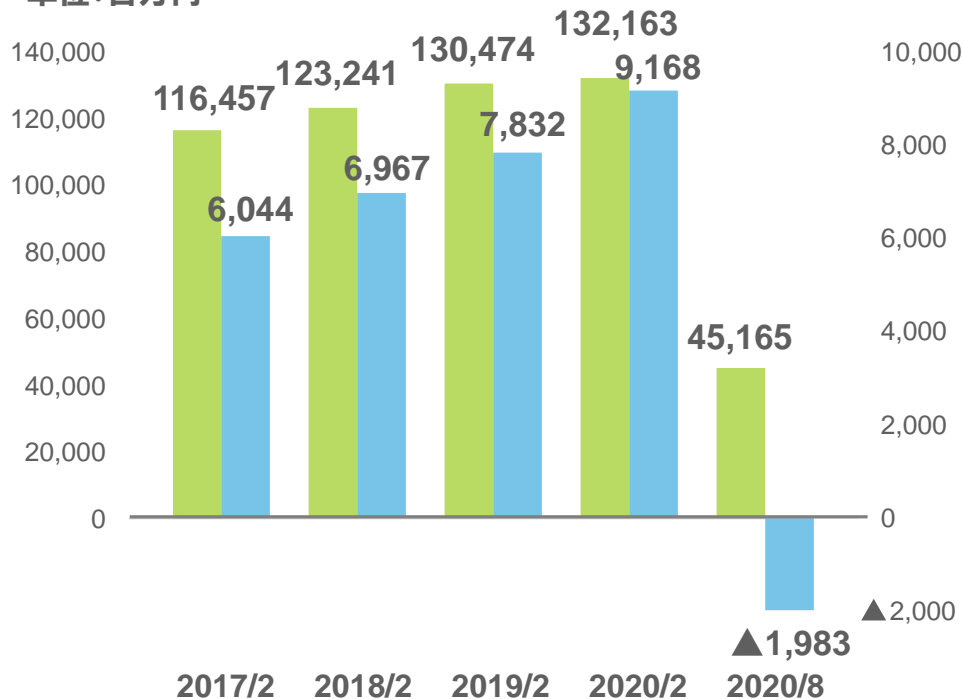
上期を振り返って

- **売上高**：新型コロナウイルス感染拡大の防止に向けた緊急事態宣言等により、閉店、時短を余儀なくされて、春物衣料の販売は非常に厳しく、また、7月以降の感染拡大により、都市中心部の店舗にお客様が戻らない状況が散見されて、前年比32.5%減の結果となった。
- **利益率**：第1Qの粗利は、春物の消化に向けたマークダウンにより、56.0%、前年比3.7ポイント減となったが、在庫の調整は、第2Qに一部持ち越された結果、上期では53.6%、前年比3.5ポイント減となった。中間期末での在庫一掃、新しく入荷のAW商品はプロパー消化が進み、第3Q以降の粗利率は、大幅改善の予想。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

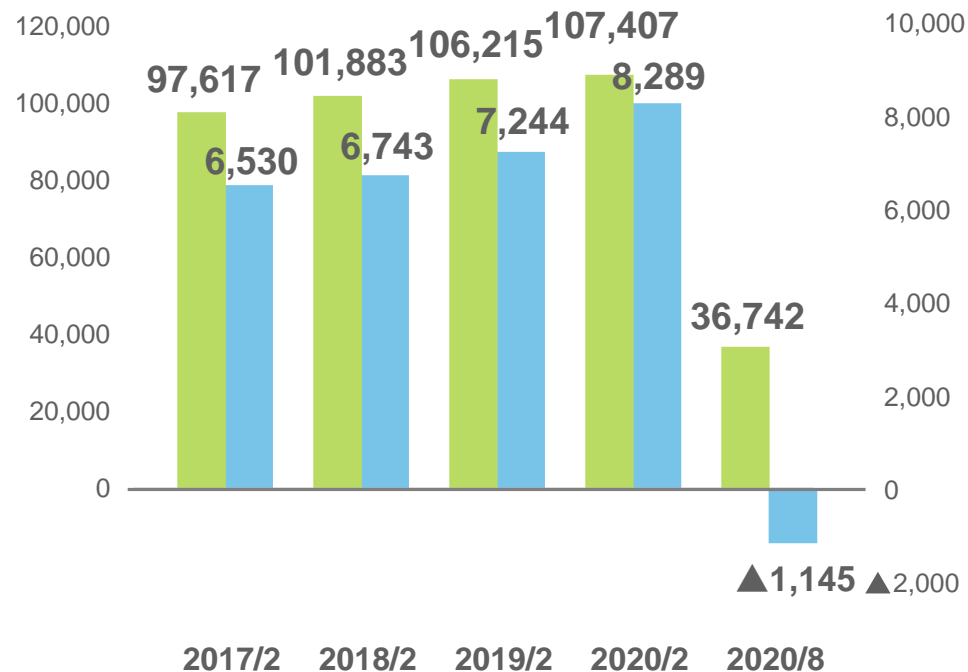
単位：百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



単位:百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期			
		公表値 未開示	実績	前年同期比	公表値比
売上高	66,958	—	45,165	▲32.5%	—
売上総利益	38,209	—	24,191	▲36.7%	—
(売上比)	57.1%	—	53.6%	▲3.5%	—
営業利益	5,524	—	▲1,761	—	—
(売上比)	8.2%	—	—	—	—
経常利益	5,488	—	▲1,983	—	—
(売上比)	8.2%	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,468	—	▲1,518	—	—
(売上比)	5.2%	—	—	—	—

- 新型コロナウイルス感染拡大の中、唯一の販路であるECへ、ヒト、モノ、カネを集中投資し、店舗の売上げ減を補完したが、まだまだ十分とはいかず、EC化率向上を今後の課題とする。
- 閉店、時短による賃料の減少交渉や、雇用調整助成金の申請と共に、期中の経費圧縮を最重要課題として取り組んだ結果、販管費は6,732百万円の減少となった。

単位:百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	
		実績	
			前年同期比
売上高	54,216	36,742	▲32.2%
売上総利益	31,271	19,998	▲36.0%
(売上比)	57.7%	54.4%	▲3.3%
営業利益	4,866	▲1,135	—
(売上比)	9.0%	—	—
経常利益	4,869	▲1,145	—
(売上比)	9.0%	—	—
当期純利益	7,271	287	▲96.1%
(売上比)	13.4%	0.8%	▲12.6%

- 第1Qの売上高の減少度合が、他社対比、当社の落ち込みが一番大きく、従来からの出店政策である、大都市への出店を軸とする方針が、一部、裏目に出た。
- また、EC展開をしてこなかった3 Coins等の生活雑貨事業が、閉店等で売り上げが取れない状況になり、早急にEC対応を検討した結果、9月24日より、PALCLOSETでのEC販売を開始へ。

単位:百万円

	2019年8月期 実績	2020年8月期 実績	前年比
売上高	8,295	5,671	▲31.6%
営業利益	598	▲76	—
経常利益	609	▲62	—
当期純利益	516	▲106	—

- コロナ禍の中ではあるものの、「ピュアルセシン」や、「オリーブ・デ・オリーブ」などのブランドでは、前年を大きく上回る成績となった。いずれもEC伸び率が50%を上回るなど、店舗での売上げ減を、ECでカバー出来た結果といえる。
- 粗利益率は、春物を中心に、緊急事態宣言下での在庫対応を進めた結果、51.9%、前期比3.7ポイントの減少となった。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

単位:百万円

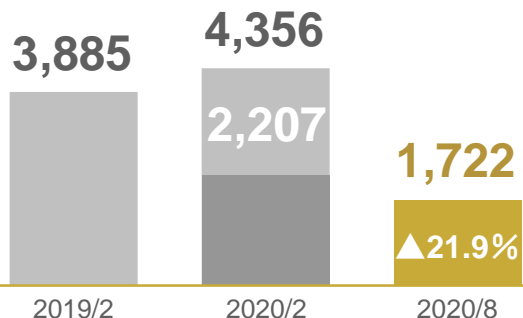
		2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料	売上高	48,714	32,061	▲34.2%
	構成比	72.8%	71.0%	▲1.8%
	営業利益	4,068	▲2,085	—
	営業利益率	8.4%	—	—
雑貨	売上高	18,194	13,080	▲28.1%
	構成比	27.2%	29.0%	1.8%
	営業利益	1,433	317	▲77.9%
	営業利益率	7.9%	2.4%	▲5.5%
その他	売上高	49	23	▲53.1%
		2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高	ZOZO TOWN	5,794	6,182	106.7%
	自社PALCLOSET	1,850	3,431	185.5%
	その他	1,076	1,165	108.1%
	合計	8,720	10,778	123.6%
	対衣料売上高比率	17.9%	23.9%	6.0P

- EC化率が23.9%へ一気に上昇。今後への課題として、更なるEC化率の引き上げを図る方針。
- サイト別では、パルグループの自社サイト『PALCLOSET』の増加が185.5%と大きく伸長し、今後も、一層の強化を図ることで、粗利率の向上にも貢献出来る、ウィズコロナ体制作りへ邁進する方針。

主なブランド

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

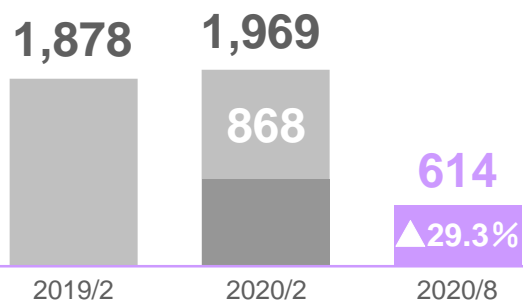
カスタネ

店舗数 23店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カットイング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

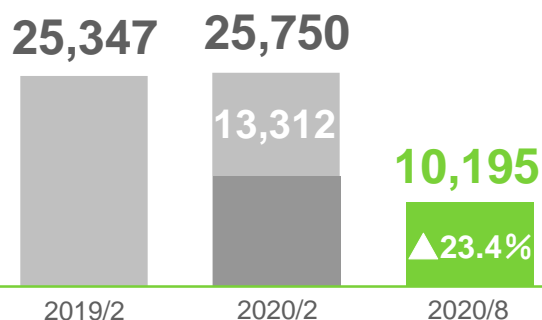
ルイス

店舗数 11店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE
3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝い
する雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・
アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽
くなるようなカラフルな色使いのものまで、300円
を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 205店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

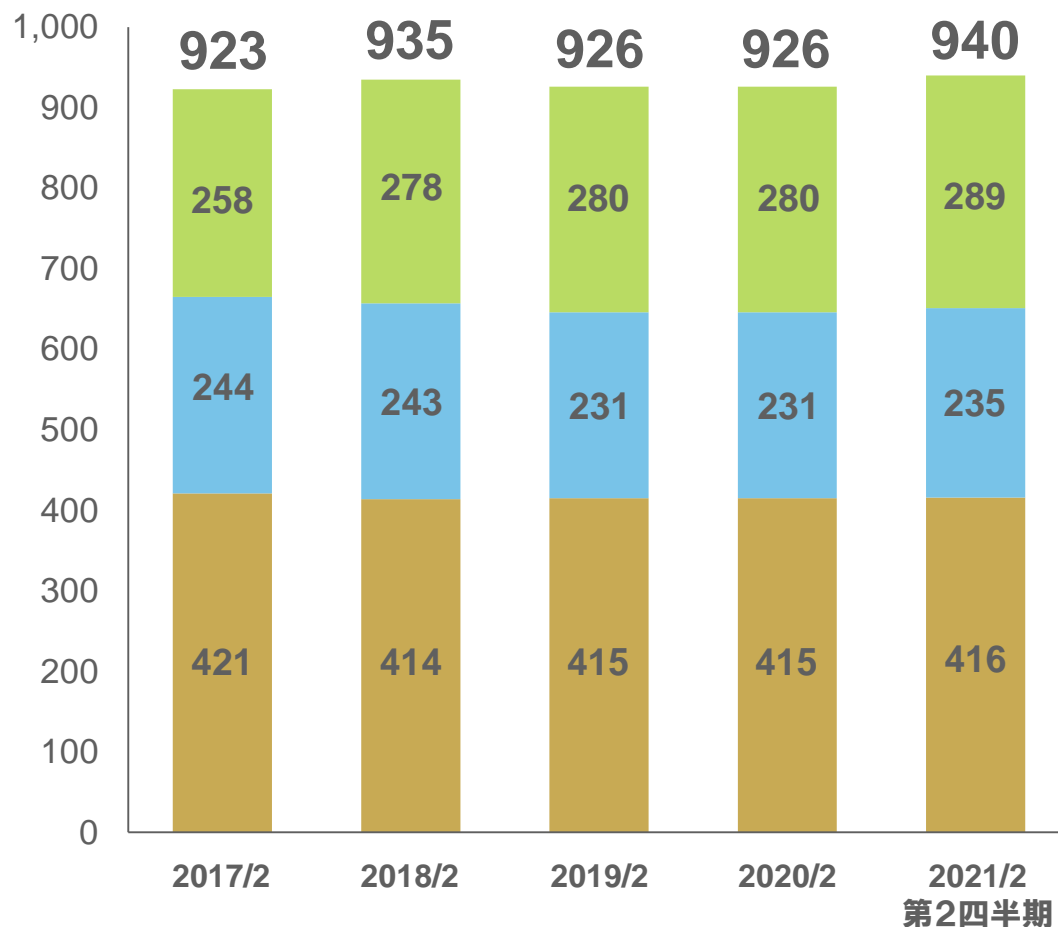
単位:百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	前年同期比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	26,404	21,134	▲20.0%
連結	32,685	25,953	▲20.6%
販管费率(連結ベース)	48.8%	57.5%	8.7P
人件费率	18.2%	21.6%	3.4P
賃料费率	15.0%	15.1%	0.1P
広告宣伝费率	1.2%	1.7%	0.5P

- コロナ禍の中、売上高に対する販管费率は上昇しているものの、昨年対比で人件費、賃料、及び多くの販管費の項目に於いて、大幅な経費削減を図ることができ、引き続きの削減に取り組んでいく方針。

第2四半期末店舗数940店舗 (前期末比14店舗増加)

- その他地方
- 関西圏
- 関東圏



● 出退店状況

新規での出店が38店舗、一方での退店が24店舗の、純増14店舗となった。

● 各ブランドの出店状況

新規の出店では、3 Coinsが5店舗、COLONY2139で3店舗、CIAOPANIC TYPYで2店舗等となっている。

単位:百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期
固定資産除却損	72	49
減損損失	80	209
特別損失合計	152	258

- 緊急事態宣言による店舗閉鎖等を起因とした減損損失が、昨年比で大きく増加した。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期	2021年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	67,842	65,571	▲2,271	
現金及び預金	52,727	50,938	▲1,789	
売掛金	6,435	5,746	▲689	在庫減▲921
たな卸資産	7,829	7,615	▲214	
その他	849	1,272	423	
固定資産	27,112	28,081	969	
有形固定資産	7,780	8,261	481	
無形固定資産	690	590	▲100	
投資その他の資産	18,641	19,229	588	
資産合計	94,954	93,653	▲1,301	
流動負債	36,004	37,584	1,580	短期借入+15,000
固定負債	12,323	13,292	969	
負債合計	48,327	50,877	2,550	
純資産合計	46,627	42,776	▲3,851	
負債純資産合計	94,954	93,653	▲1,301	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,417	▲11,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,636	▲1,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	388	11,077
現金及び現金同等物の増加(減少)額	7,169	▲1,789
現金及び現金同等物の期首残高	45,633	52,727
現金及び現金同等物の期末残高	52,802	50,938

- 緊急事態宣言による店舗の閉鎖や営業時間短縮等により、売り上げが激減する中、賃料や、人件費等の経費の支払いが先行、短期借入150億円を実施し、資金繰りの安定化を図っている。

単位:百万円

	2020年2月期	2021年上期	2021年下期	2021年2月期	前期比
売上高	132,163	45,165	59,614	104,779	▲20.7%
売上総利益	74,386	24,191	33,628	57,819	▲22.3%
販売管理費	65,319	25,953	32,474	58,427	▲10.6%
営業利益	9,067	▲1,761	1,154	▲607	—
経常利益	9,168	▲1,983	1,041	▲942	—
特別損益	564	258	200	458	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,028	▲1,518	298	▲1,220	—
粗利率	56.3%	53.6%	56.4%	55.2%	▲1.1P

- 上期の売上は、1Qで前期比32.5%減だったが、2Qに同10.6%減まで回復出来た。また、仕入れの抑制も効き、上期の在庫は、前期比で圧縮することが出来た。期末の在庫については、厳しく検証した上で、春物の在庫などを一括処理したので、不良在庫は一掃され、下期への持ち越しを遮断した。下期以降の粗利益率は、大きく回復するものと見通している。
- 緊急事態宣言解除後も、都心部のモールへの来客が戻りずらく、コロナ禍の中での売上高は、前期比20.7%減の前提を置いて、仕入れ面でも併せて対応している。下期既存店は、店舗80%、EC含めて85%とし、EC、特に自社サイトである「PALCLOSET」の強化に向けた施策を、前倒ししていく。また、従来、EC対応していなかった「3コインズ」等の生活雑貨も、9月より対応を始めており、コロナ禍で浮彫りとなってきた課題に、迅速に対応していく方針。

2021年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

()内、現時点の確定数

	2020年2月期	2020年8月末	2021年2月期 期末予想
新規店舗数	48	38	71
退店店舗数	48	24	52
店舗数純増	0	14	19
会計年度末の店舗数	926	940	945

2. 既存店売上の状況

(パルグループ各社の合計)

	2020年2月期	2021年2月期 上期累計実績	2021年2月期 下期累計見通し	2021年2月期
既存店売上推移	100.1	66.0	85.0	75.5
うち小売既存店売上高	98.2	57.0	80.0	68.5
うちネット通販既存店売上高	114.0	124.4	150.0	137.2

	2020年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	69.1	25.0	41.4	95.0	81.5	83.8
うち小売既存店売上高	66.1	10.9	25.6	87.3	75.0	77.2
うちネット通販既存店売上高	101.9	117.0	135.0	139.8	120.2	126.1

3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	71.7	25.0	42.4	96.1	83.1	86.9	67.5
うちEC	98.8	117.3	135.2	139.9	120.7	125.9	123.6

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比(第二四半期累計)	客数前年度比(第二四半期累計)
衣料事業	92.2%	63.0%
雑貨事業	108.0%	64.5%
全体	105.2%	63.0%

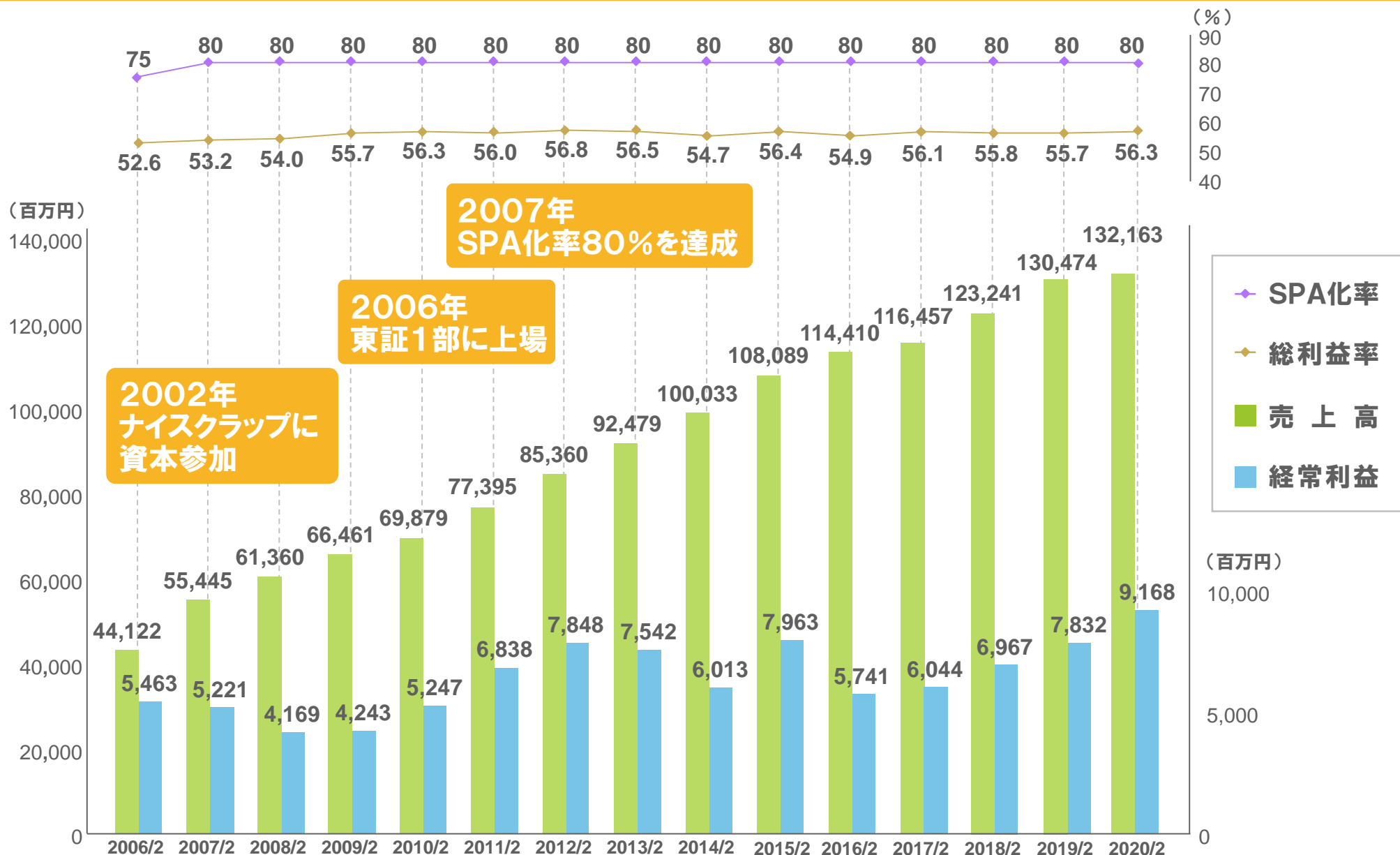
SMILE
IS
POWER.

経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン

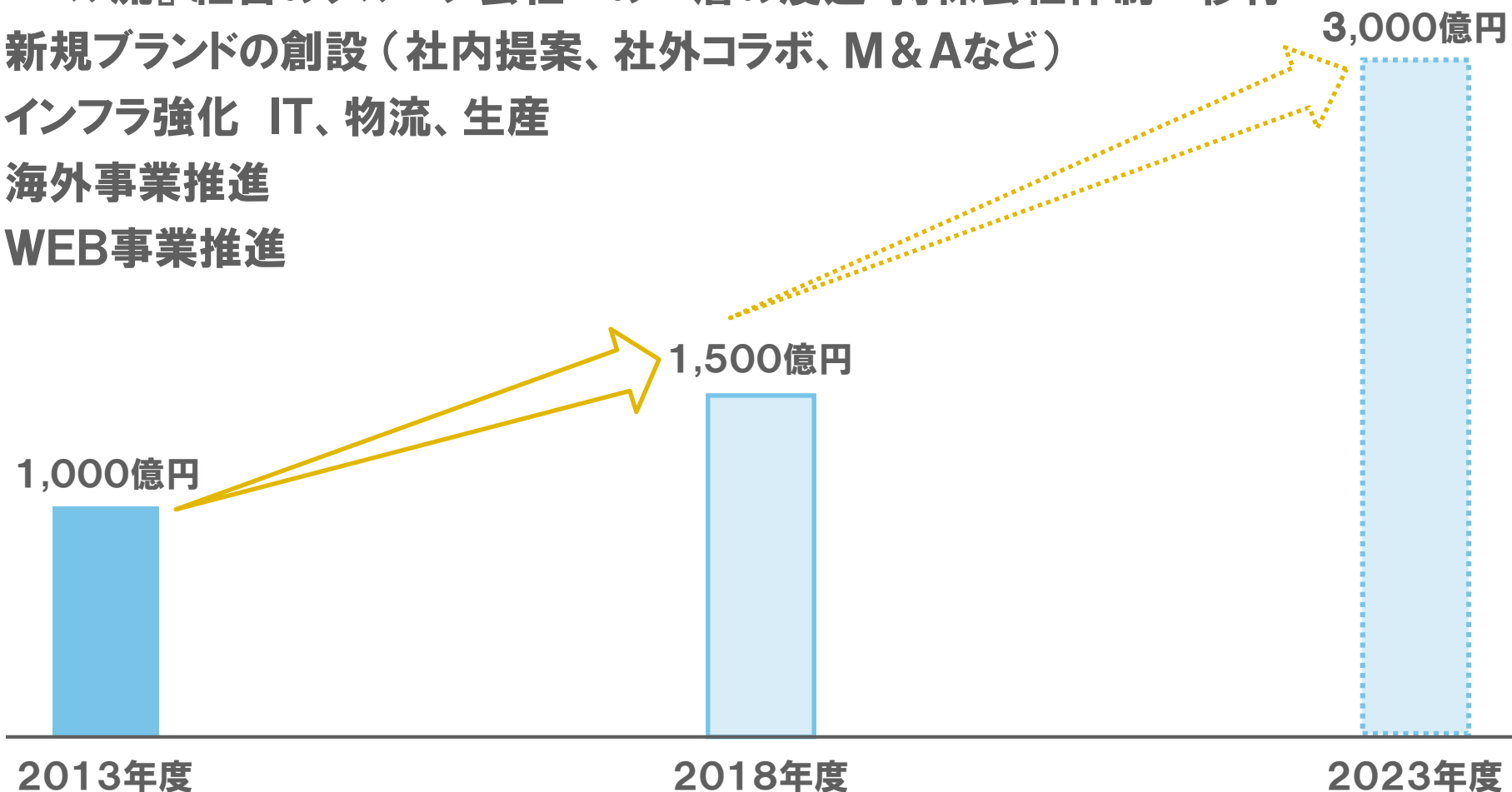


業績推移



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

トピックス

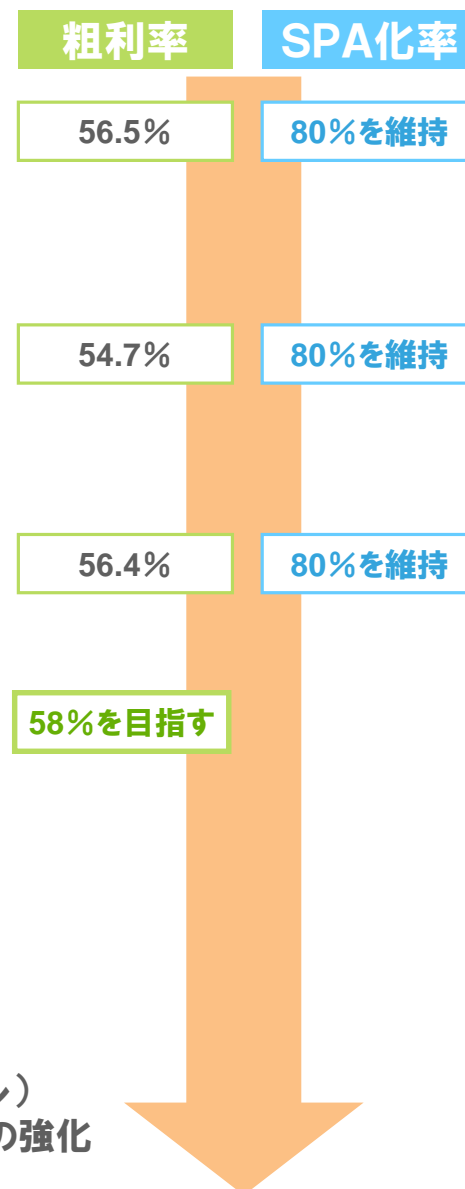
1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - 2-戦略スケジュール・前倒しへ
 - 2-①. PAL流オムニチャンネル
3. EC強化への取り組み
 - 3-①. 3COINS事業のEC対応開始
 - 3-②. EC専用ブランド、『テリトワール』



1. MD改革の進捗状況

具体的な施策

年次	進捗段階	具体的な施策
2013年	第1段階	<p>売れ筋商品のMDサイクル(8週間)での完成段階 MD改革の断行を宣言</p>
2013年 11月		<p>環境の変化への大きな舵取りを断行へ 温暖化の影響による春・秋のシーズンの希薄化、バーゲンセール の分散化・不人気化、ファストファッションの浸透・・・等々から</p>
2014年	第2段階	<p>売れ筋商品のMDサイクルを、一気に4週間の短サイクルへ</p> <p>円安を主要因とする非常に厳しいアパレル小売の環境下 短サイクル化による、店頭鮮度の向上がプロパー消化率を押し上げ 適正型数、在庫管理の徹底により、セール期での粗利低下を防止 過去最高益を達成</p>
2015年	第3段階	<p>4週間の短サイクルMDの完成 期初から、全ブランドの4W発注を達成</p>
2016年		<p>生産プラットフォームの強化 春夏ものから生産集約を開始、グループの規模を生かした形で、 秋冬ものから本格稼働し、質の向上とコスト削減へ</p> <p>トレンドベーシックな価格戦略商品の取込み 従来の中間層が崩壊した市場に合わせた商品の投入</p>
2017年		<p>5つの施策の明確化</p> <p>①4週MDのさらなる徹底と推進 ②プロモーションのネット化(オムニチャネル) ③ECの強化 ④生産プラットフォームの活用・強化 ⑤プラスワンカテゴリーの強化 ⑥シフトの効率化</p>

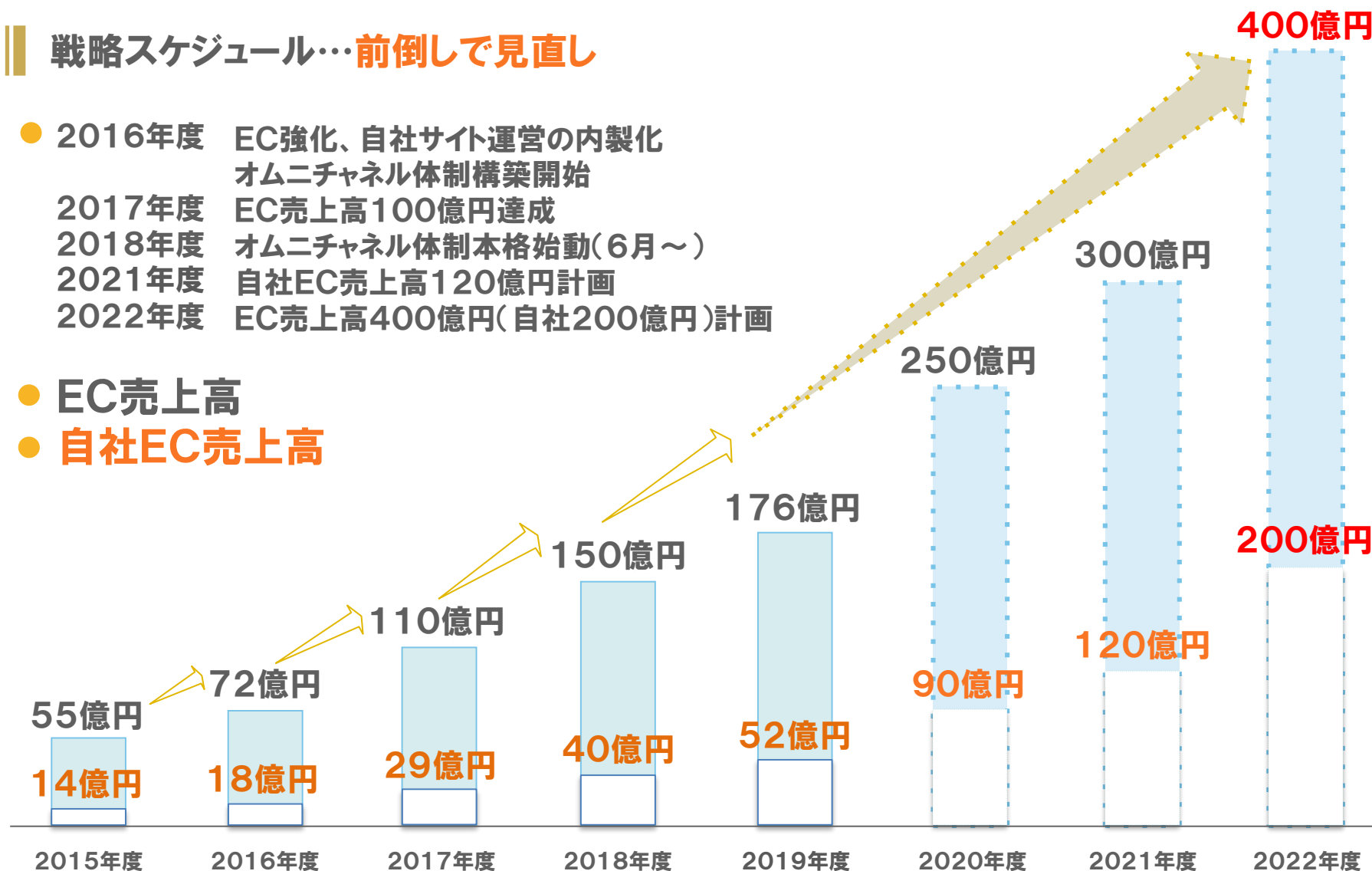


2. EC販売強化

戦略スケジュール…前倒しで見直し

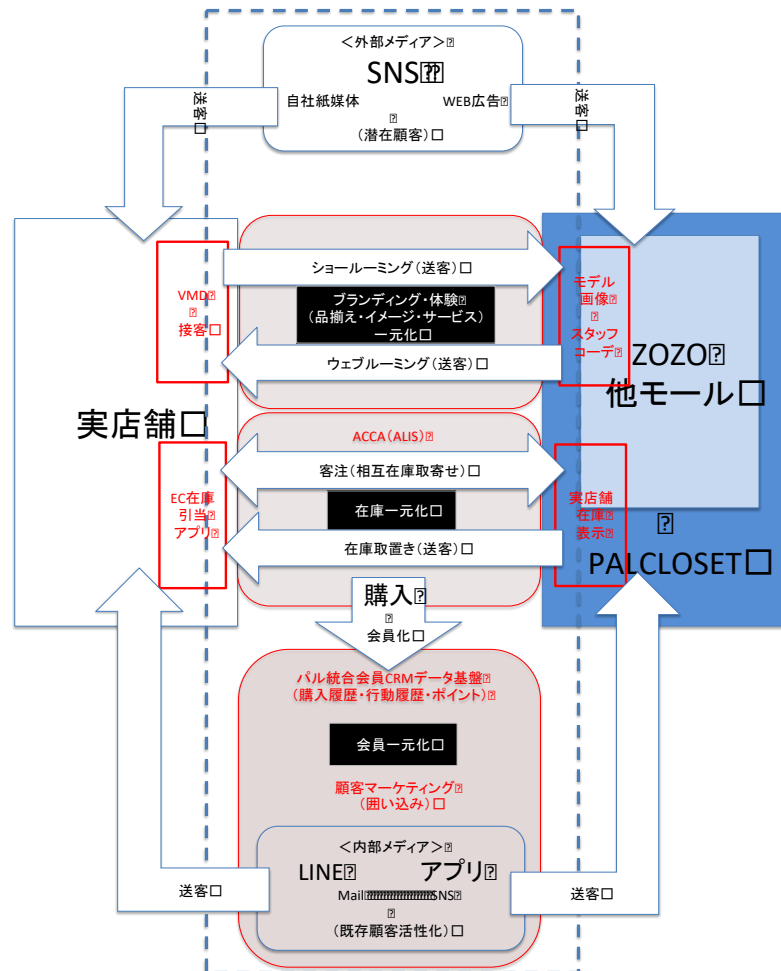
- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャンネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャンネル体制本格始動(6月～)
- 2021年度 自社EC売上高120億円計画
- 2022年度 EC売上高400億円(自社200億円)計画

- EC売上高
- 自社EC売上高



2-①. PAL流オムニチャンネル

Technology



システム・データの一元化
デジタルの活用

Human



×

実店舗・ECの境を超えた
スタッフの活躍

3-①. EC強化への取り組み

- パルの3ブランド「3COINS」「ASOKO」「Lattice」が、9月24日より、公式通販サイト「PAL CLOSET/パルクローゼット」での販売をスタート

通販、はじめます。



ONLINE STORE
9.24(Thu.) OPEN!

3COINS

ASOKO

Lattice

3COINS、ASOKO、Latticeは、各ブランド内でのお買い上げが、1,500円(税抜き)以上で、ご利用可能に。5,000円(税込)以上は、送料無料/ポイントは店舗と共通でご利用可能へ。

● EC専用ブランド、『テリトワール』のサステナビリティへの取り組み



「この星や社会に出来る、やさしい行動と一緒に。」をテーマに、2020AWよりサステナブルを意識した商品展開を進めていきます。

素材の見直しから、デザインの面でも、長く大切に着てもらえるクラシックなデザインを提案し、サステナブルを意識し考えていきます。

取り組み1

サステナブル商品を示す提札を新たに作成



対象商品を示す提札を、オリジナルマークを掲載し作成。素材は再生紙100%を使用。また洗濯表示タグもエコ素材に変更。

取り組み2

再生ポリを使用したパジャマを展開



取り組み3

サステナブル対象商品のPRを強化

独自基準のサステナブル対象商品を新たに設け、対象商品ページには、専用のアイコンを掲載。また取り組みと、対象商品のPRとして特集ページを9月末に公開予定。



SMILE
IS
POWER.

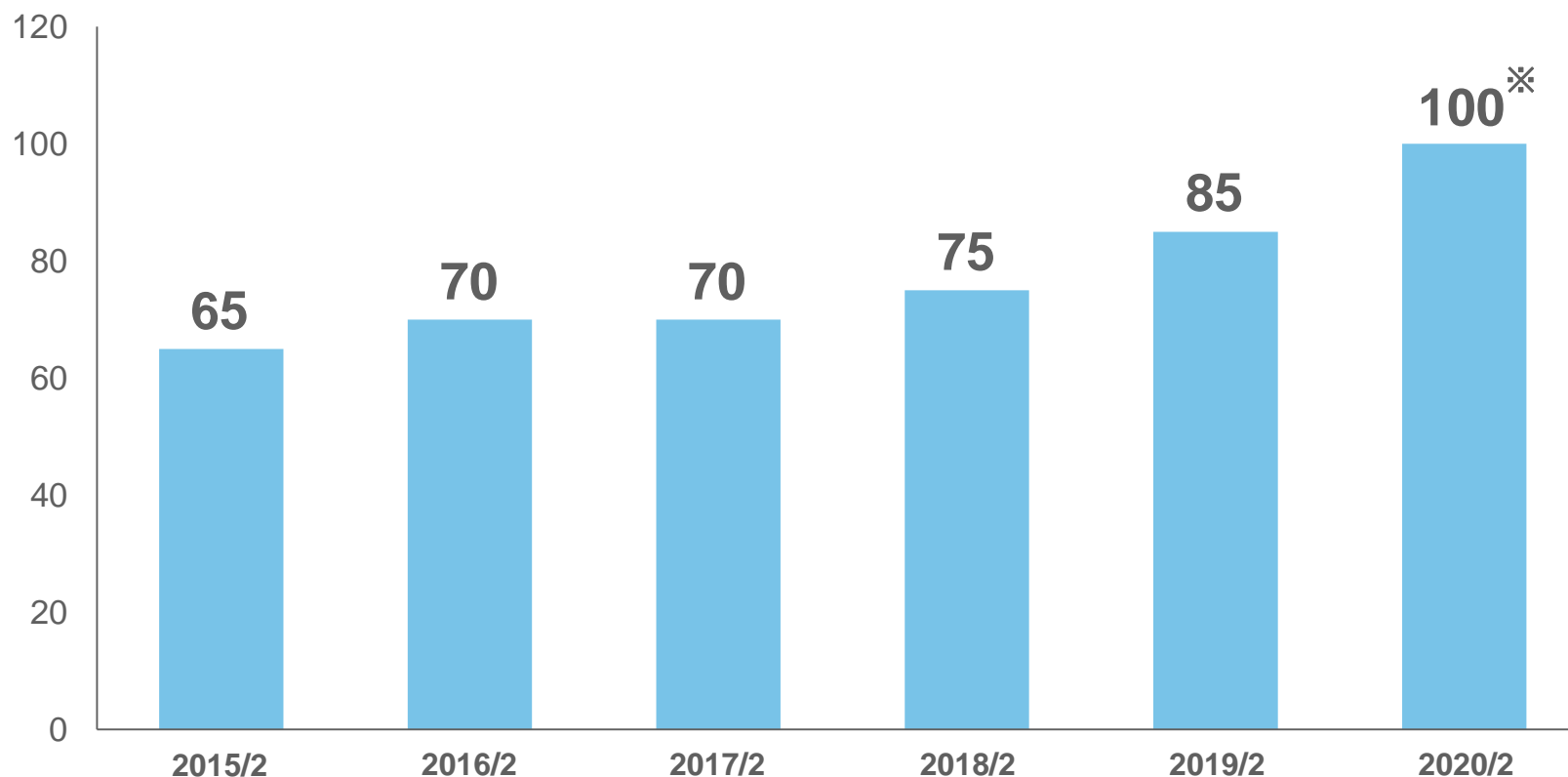
株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする



※2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として、1株あたりの配当は、50円へ自動的に変更されました。

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の4つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ① 全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ② 当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③ 当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引
- ④ 金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引(2020年6月1日より)

● 優待券の付与枚数・・・株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE
IS
POWER.

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業(Environment)
- 3-①. 障がい者雇用(Social)
- 3-②. 関西学院大学での寄附講座(Social)
- 3-③. パル井上財団での取組み(Social)
4. ジェンダー平等と働き方改革(Governance)



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み(Environment Social Governance)は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業(Environment)

「PALフォレスト事業」の取組み (Environment)

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加することで、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。



3-①. 障がい者雇用(Social)

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 (Social)

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み (Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



『公益財団法人パル井上財団』での人材育成① (Social)

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む)に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト
トップページ



パル井上財団

3-③. パル井上財団での取組み（Social）

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校
の流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの
多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプ
レイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会
にしていきたいと思います。



4. ジェンダー平等と働き方改革(Governance)

徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』 (Governance)

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	98
第二事業部	353	78	77	86
第三事業部	310	93
第四事業部	378
第五事業部
第六事業部
第七事業部
開発事業部
全社合計	382	82	66	61	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

社 是

「常に新しいファッションライフの提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	940店舗

経営企画室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。